

龍谷大学における「仏教 SDGs」を通じた成果と課題（2021 年度）

龍谷大学では、2020 年度から 2039 年度を計画期間として展開する将来計画「龍谷大学基本構想 400」における将来ビジョンとして、「『まごころ～Magokoro～』ある市民を育み、新たな知と価値の創造を図ることで、あらゆる『壁』や『違い』を乗り越え、世界の平和に寄与するプラットフォームとなる」旨を掲げています。これは、まさに、持続可能な社会の実現を希求する計画といえます。

また、浄土真宗の精神を建学の精神とする本学では、阿弥陀仏が「すべての生きとし生けるものを決して見捨てない」と誓われた心（摂取不捨）と、SDGs が掲げる「誰一人取り残さない」という理念とに共通点を見出し、この仏教的な視点を通して大学構成員自らの自省と気づきを促す「仏教 SDGs」を掲げ、SDGs に資する諸事業を様々に展開しています。

これらを踏まえ、龍谷大学ならではのアプローチで SDGs の達成に貢献することを誓い、2022 年 2 月には、「龍谷大学 SDGs 宣言」を発出するに至りました。

なお、ここでは「環境」「経済」「社会」及び「パートナーシップ」の 4 つの区分に分類し、主な活動を通じた成果と課題をまとめました。各取組の詳細については「龍谷大学の SDGs 取組実績」をご参照ください。

龍谷大学基本構想 400 – 2039 年創立 400 周年を超えた未来に向けて –

<https://www.ryukoku.ac.jp/400plan/>

龍谷大学 SDGs 宣言

<https://www.ryukoku.ac.jp/sdgs/about/>

仏教 SDGs について

<https://retaction-ryukoku.com/concept>

龍谷大学の SDGs 取組実績

<https://www.ryukoku.ac.jp/sdgs/goal/>

社会分野



近年、長期化するコロナ禍の影響もあって社会的分断が加速しているといわれており、一人ひとりの心に寄り添うことや、ダイバーシティ&インクルージョンの必要性が高まっています。

本学では、複雑かつ多様化する課題に向き合いながらより良い社会に寄与できる人材を養成すべく、2023年4月、新たに「心理学部」を開設します。2021年度には、その開設に向けて、カリキュラムの具体化等を図りました。心理学部では、「2つのプログラム」とプログラムを横断する「プログラム横断科目」を展開するとともに、データサイエンス科目も取り入れた実践的な学びを提供します。

また、ジェンダーギャップ・経済的格差の解消に向けて、学生によるアイデアをもとに、2021年6月に設置した「生理の貧困を解決するためのワーキンググループ」での検討を経て、2021年9月から生理用ナプキンの無料化を実現するサービス「OiTr (オイテル)」を導入しました。今後、学内の約700カ所のトイレに設置していきます。

今後も、多様な学生が集い学ぶキャンパスを目指すとともに、誰一人として取り残さない社

会の実現に向けて変革の担い手となる人材を育成します。

龍谷大学心理学部（2023年4月開設）

<https://www.ryukoku.ac.jp/newfaculty/>

生理用ナプキンの無料化を実現するサービス「OiTr（オイテル）」を導入

<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-9221.html>